

令和6年6月 全校朝礼

おはようございます。

体育祭が終わりました。3年生がリーダーとして、1・2年生を引っ張ってくえ、素晴らしい体育祭になりました。3年生のみなさん、ありがとうございました。1・2年生も精一杯力を発揮してくれました。来年の体育祭、期待しています。しかし、2週間後には期末考査があり、終わると「国際交流の日」です。また、9月に実施する1年生は移動教室、2年生は職場体験学習、3年生は修学旅行の取り組みも始まり、忙しい日々です。

その様な中、皆さんは、日々どのようなことを感じて学校生活を送っていますか。頑張っ、自分の描いた成果が表れている人もいれば、頑張っているのだけれど、結果が出ていないと感じたり、頑張ることもできないと思ひ込んだりしてしまっている人もいるのではないのでしょうか。

そんな皆さんに、次の言葉を贈ります。

「ライバルは昨日の自分」です。人と比べることを止めましょう。人と比べて、自分の方が勝っていると感じることで、安心感を得ようとする人は、幸せにはなれません。常に全て自分が勝ることはあり得ないからです。

皆さんはイソップ物語の「ウサギとカメ」という話を知っていますね。ウサギとカメが競争するのですが、ウサギは自分の方が足が速いので、途中で怠けてしまい、カメに抜かされて、負けてしまうという話です。この話を逆にカメの側から考えると、カメはよく競争したと思ひませんか？足の速いウサギには勝てないとカメは分かっていたと思ひます。でも、カメは挑戦しました。

皆さんだったらどうしますか？ 勝負する前にあきらめてしまひますか？カメにとって相手は関係なかったのだと思ひます。ゴールを目指して、目の前の自分のやることを1歩ずつ、自分のできることを最大限に生かして1歩ずつやるだけ、ただそれだけだったのではないのでしょうか。

私たちは、遠くのこを見過ぎて、自分にできるか、できないか、と不安になることがあります。その様な時は、目の前のやるべき事に集中して、1歩ずつ取り組むと良いのではないのでしょうか。山登りとよく似ています。山を見上げた時、あんな高い山は登れないやあと思ひても、1歩ずつ踏みしめ登っていく。ある程度登り、ふと振り返った時に、こんな高いところまで来たんだと感じた経験があるはずです。一気に登れません。目の前の事に集中して1歩ずつなのです。

小さな1歩を踏み出すことが未来を切り拓く、今に集中することで、目標に近づくことになるのです。 「ライバルは昨日の自分なのです。」